

平成23年度(2011年度)

# 三重大学人文学部3年次編入学 学 生 募 集 要 項

< 一般を対象とした入試 >

< 社会人を対象とした特別入試 >

< 私費外国人留学生を対象とした特別入試 >

三 重 大 学

## I. 学科・募集人員

学 科 名	募集人員	区 分			
		一般を対象とした入試		社会人を対象とした特別入試	私費外国人留学生を対象とした特別入試
		推薦による入試	学力試験による入試	学力試験による入試	学力試験による入試
文化学科	10名	—	5名	5名	若干名
法律経済学科	20名	7名程度	10名程度	3名	若干名

## II. 一般を対象とした入試

### ● 推薦による入試

#### 1. 出願資格

##### 【法律経済学科】

次の各号のいずれかに該当する者で、学業成績が上位に属し、出身学校長等が責任を持って推薦できる者。ただし、他大学に重複して推薦されていない者、合格した場合に入学を確約できる者に限ります。

- (1) 短期大学及び高等専門学校を平成23年3月卒業見込みの者
- (2) 大学を平成23年3月卒業見込みの者
- (3) 平成23年3月31日までに大学に2年以上の在学となる者で修得（修得見込み）単位数が52単位以上の者

#### 2. 編入学時期及び卒業要件

- (1) 編入学は、平成23年4月とし、学年は第3年次とします。
- (2) 本学部で定める所定の単位数を修得した場合は、入学後2か年の在学で卒業可能です。

#### 3. 出願手続

##### (1) 出願期間

平成22年6月1日（火）から6月4日（金）まで  
 郵送の場合は「書留速達」とし、6月4日（金）必着とします。  
 なお、持参する場合は9時～17時とします。（土曜日・日曜日・祝日を除く）

##### (2) 出願に必要な書類

書 類 等	摘 要
① 志 願 票	本学部所定の用紙
② 推 薦 書	本学部所定の用紙に最終出身(在学)学校長等が記入し、厳封したもの。
③ 志 願 理 由 書	本学部所定の用紙
④ 受 験 写 真 票 受 験 票	本学部所定の用紙 出願日前3か月以内に撮影した写真（たて4cm×よこ3cm、無背景、三分身、無帽、正面向のもの（カラー可）を貼ってください。）
⑤ 出 願 資 格 を 証 明 する 書 類	卒業見込み証明書（最終出身(在学)学校所定のもの） （出願資格(3)の者は、在学期間証明書（本学部所定の用紙に最終出身（在学）学校長等が記入し、厳封したもの）及び修得単位数を証明できる証明書）
⑥ 成 績 証 明 書	最終出身(在学)学校長等が作成し、厳封したもの。
⑦ 入 学 検 定 料	30,000円（振込手数料が別途必要となります。） 本学所定の振込用紙に必要事項を記入し、切り離さずに、最寄りの金融機関（銀行・信用金庫・農協など）の窓口に入学金検定料を添えて振込手続を行ってください。 （ATMは使用しないでください。）振込の後に、「振込証明書」（入学志願票添付用）を受け取り、金融機関の受取印が押されていることを確認し、その後、入学志願票の所定欄にのりで貼り付けてください。なお、「受取書」は志願者本人の領収書となりますので、大切に保管してください。 （ゆうちょ銀行での取り扱いはできませんので、注意してください。）
⑧ あ て 名 票	本学部所定の用紙（ラベルは4枚とも記入してください。）
⑨ 受 験 票 等 送 付 用 封 筒	本学から志願者に受験票等を送付するための封筒です。 志願者の郵便番号、住所、氏名を明記し、350円分の切手を貼ってください。（速達郵便）

(3) 出願先

〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577  
三重大学人文学部チーム学務担当 電話 (059) 231-9197(直通)

(4) 受験票の交付

受験票は、本人あてに郵送します。

(5) 出願書類提出上の注意事項

- ① 出願書類に虚偽の記入をした者に対しては、入学後でも入学を取り消すことがあります。
- ② 出願書類に記入もれ等不備がある場合には、受理できませんので注意してください。
- ③ いったん受理した書類は、いかなる理由があっても返還しません。
- ④ 入学検定料を払い込んだ後、出願書類を提出しなかった場合、出願書類が受理されなかった場合及び入学検定料を誤って二重に払い込んだ場合を除き、いかなる理由があっても払込済の入学検定料は返還しません。(8頁参照)

4. 選抜方法等

(1) 入学者の選抜については、出願書類及び面接の結果を総合して行います。

期 日	時 間	教 科 等	実 施 場 所
平成22年6月16日(水)	10:00～	面 接	人文学部

(2) 受験上の注意事項

- ① 試験時間割等の詳細は、後日、本人あてに通知します。
- ② 受験票を必ず持参してください。
- ③ 当日の掲示事項に注意してください。

5. 合格者の発表

平成22年7月20日(火)午前10時頃、人文学部ロビーに合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者本人あてに郵便で通知します。

また、合格発表後、入試チームホームページ(<http://www.mie-u.ac.jp/exam/>)にも合格者の受験番号を掲載します。

閲覧できる期間は、「平成22年7月20日(火)～7月26日(月)17時まで」です。

なお、電話による合否の照会には一切応じられません。

6. 編入学確約書の提出

編入学試験の合格通知を受けた者は、学校長等及び本人が連署した入学確約書を平成22年8月6日(金)までに提出してください。

7. 推薦入学を認められなかった者の取り扱い

推薦による入試の結果不合格となった者で、「学力試験による入試」を受験しようとする者は、改めて所定の方法により出願してください。

## ● 学力試験による入試

1. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 大学を卒業した者及び平成23年3月卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第3項の規定により学士の学位を授与された者及び平成23年3月までに授与される見込みの者
- (3) 大学の2年課程を修了した者
- (4) 大学に2年以上在学した者及び平成23年3月31日までに2年以上の在学となる者で修得(修得見込み)単位数が52単位以上の者
- (5) 短期大学又は高等専門学校を卒業した者及び平成23年3月卒業見込みの者
- (6) 国立養護教諭養成所又は国立工業教員養成所を卒業した者

- (7) 学校教育法施行規則（昭和 22 年文部省令第 11 号）附則第 7 条の規定による者
- (8) 学校教育法第 132 条の規定による専修学校の専門課程を修了した者及び平成 23 年 3 月修了見込みの者
- (9) 外国において日本の学士の学位と同等の学位を取得した者及び取得見込みの者
- (10) 外国において学校教育における 14 年の課程若しくはこれと同等以上の課程を修了した者及び平成 23 年 3 月 31 日までに修了見込みの者

[注] 出願資格(8)による場合は、修学上の詳細について事前に問い合わせてください。

## 2. 編入学時期及び卒業要件

- (1) 編入学は、平成 23 年 4 月とし、学年は第 3 年次とします。
- (2) 本学部で定める所定の単位数を修得した場合は、入学後 2 か年の在学で卒業可能です。

## 3. 出願手続

### (1) 出願期間

平成 22 年 10 月 1 日（金）から 10 月 7 日（木）まで

郵送の場合は「書留速達」とし、10 月 7 日（木）必着とします。

なお、持参する場合は、9 時～17 時とします。（土曜日・日曜日・祝日を除く）

### (2) 出願に必要な書類

書 類 等	摘 要
① 志 願 票	本学部所定の用紙
② 志 願 理 由 書	本学部所定の用紙
③ 受 験 写 真 票 受 験 票	本学部所定の用紙 出願日前 3 か月以内に撮影した写真（たて 4cm×よこ 3cm、無背景、三分身、無帽、正面向のもの（カラー可）を貼ってください。）
④ 出 願 資 格 を 証 明 す る 書 類	卒業証明書又は卒業見込み証明書（最終出身（在学）学校所定のもの） （出願資格(2)の者は、独立行政法人大学評価・学位授与機構が作成した証明書） （出願資格(4)の者は、在学期間証明書（本学部所定の用紙に最終出身（在学）学校長等が記入し、厳封したもの）及び修得単位数を証明できる証明書）
⑤ 成 績 証 明 書	最終出身（在学）学校長等が作成し、厳封したもの。
⑥ 入 学 検 定 料	30,000 円（振込手数料が別途必要となります。） 本学所定の振込用紙に必要事項を記入し、切り離さずに、最寄りの金融機関（銀行・信用金庫・農協など）の窓口に入学金検定料を添えて振込手続を行ってください。 （ATM は使用しないでください。）振込の後に、「振込証明書」（入学志願票添付用）を受け取り、金融機関の受取印が押されていることを確認し、その後、入学志願票の所定欄にのりで貼り付けてください。なお、「受取書」は志願者本人の領収書となりますので、大切に保管してください。 （ゆうちょ銀行での取り扱いはできませんので、注意してください。）
⑦ あ て 名 票	本学部所定の用紙（ラベルは 4 枚とも記入してください。）
⑧ 受 験 票 等 送 付 用 封 筒	本学から志願者に受験票等を送付するための封筒です。 志願者の郵便番号、住所、氏名を明記し、350 円分の切手を貼ってください。（速達郵便）

出願資格(8)に該当する者については、上記の他、下記の⑨に示す書類を添付してください。

⑨	文部科学大臣の定める基準（修業年限 2 年以上で、かつ、修了に必要な総授業時間数が 1700 時間以上）を満たす専修学校の専門課程を修了したこと又は修了見込みであることを校長名で証明する証明書。
---	---

### (3) 出 願 先

〒514-8507 三重県津市栗真町屋町 1 5 7 7

三重大学人文学部チーム学務担当 電話（059）231-9197（直通）

### (4) 受 験 票 の 交 付

受験票は、本人あてに郵送します。

### (5) 出 願 書 類 提 出 上 の 注 意 事 項

- ① 出願書類に虚偽の記入をした者に対しては、入学後でも入学を取り消すことがあります。
- ② 出願書類に記入もれ等不備がある場合には、受理できませんので、注意してください。
- ③ いったん受理した書類は、いかなる理由があっても返還しません。
- ④ 入学検定料を払い込んだ後、出願書類を提出しなかった場合、出願書類が受理されなかった場合及び入学検定料を誤って二重に払い込んだ場合を除き、いかなる理由があっても払込済の入学検定料は返還しません。（8 頁参照）

#### 4. 選抜方法等

(1) 入学者の選抜については、下記のとおり行います。

【文化学科】 出願書類、小論文、外国語及び面接の結果を総合して行います。

期 日	時 間	教 科 等	実 施 場 所
平成22年11月13日(土)	10:00~11:30	小 論 文	人 文 学 部
	13:00~14:30	外 国 語*	
	15:00~	面 接	
平成22年11月14日(日)	10:00~	面 接	

\* 外国語については、英語・ドイツ語・フランス語・中国語のうちから1科目選択してください。

\* 2日目に予定されている面接は、志願者多数の場合に実施することとし、実施の有無については受験票交付時に文書にて通知します。

【法律経済学科】 出願書類、論述試験及び面接の結果を総合して行います。

期 日	時 間	教 科 等	実 施 場 所
平成22年11月13日(土)	10:00~11:30	論 述 試 験*	人 文 学 部
	13:00~	面 接	
平成22年11月14日(日)	10:00~	面 接	

\* 論述試験については、佐和 隆光 著『グリーン資本主義』（岩波新書、2009年）から出題します。

なお、同書については受験の際、持ち込み参照を認めます。

\* 2日目に予定されている面接は、志願者多数の場合に実施することとし、実施の有無については受験票交付時に文書にて通知します。

(2) 受験上の注意事項

- ① 試験時間割等の詳細は、後日、本人あてに通知します。
- ② 受験票を必ず持参してください。
- ③ 当日の掲示事項に注意してください。

#### 5. 合格者の発表

平成22年12月13日(月)午前10時頃、人文学部ロビーに合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者本人あてに郵便で通知します。

また、合格発表後、入試チームホームページ (<http://www.mie-u.ac.jp/exam/>) にも合格者の受験番号を掲載します。

閲覧できる期間は、「平成22年12月13日(月)~12月20日(月)17時まで」です。

なお、電話による合否の照会には一切応じられません。

#### 6. 編入学確約書の提出

編入学試験の合格通知を受けた者は、入学確約書を平成23年1月4日(火)までに提出してください。

### Ⅲ. 社会人を対象とした特別入試

#### ● 学力試験による入試

##### 1. 出 願 資 格

平成23年3月31日までに満23歳に達し、社会人の経験が3年以上となる者で、次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 大学を卒業した者及び平成23年3月卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第3項の規定により学士の学位を授与された者及び平成23年3月までに授与される見込みの者
- (3) 大学の2年課程を修了した者
- (4) 大学に2年以上在学した者及び平成23年3月31日までに2年以上の在学となる者で修得(修得見込み)単位数が52単位以上の者
- (5) 短期大学又は高等専門学校を卒業した者及び平成23年3月卒業見込みの者
- (6) 国立養護教諭養成所及び国立工業教員養成所を卒業した者
- (7) 学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)附則第7条の規定による者
- (8) 学校教育法第132条の規定による専修学校の専門課程を修了した者及び平成23年3月修了見込みの者
- (9) 外国において日本の学士の学位と同等の学位を取得した者及び取得見込みの者

- (10) 外国において学校教育における 14 年の課程若しくはこれと同等以上の課程を修了した者及び平成 23 年 3 月 31 日までに修了見込みの者

[注] ・社会人の経験には「主婦[主夫]業」も含まれます。

・出願資格(8)による場合は、修学上の詳細について事前に問い合わせてください。

## 2. 編入学時期及び卒業要件

- (1) 編入学は、平成 23 年 4 月とし、学年は第 3 年次とします。  
 (2) 本学部で定める所定の単位数を修得した場合は、入学後 2 か年の在学で卒業可能です。

## 3. 出願手続

- (1) 出願期間  
 平成 22 年 10 月 1 日（金）から 10 月 7 日（木）まで  
 郵送の場合は「書留速達」とし、10 月 7 日（木）必着とします。  
 なお、持参する場合は、9 時～17 時とします。（土曜日・日曜日・祝日を除く）

- (2) 出願に必要な書類

書 類 等	摘 要
① 志 願 票	本学部所定の用紙
② 志 願 理 由 書	本学部所定の用紙
③ 受 験 写 真 票 受 験 票	本学部所定の用紙 出願日前 3 か月以内に撮影した写真（たて 4cm×よこ 3cm, 無背景, 三分身, 無帽, 正面向のもの（カラー可）を貼ってください。）
④ 出 願 資 格 を 証 明 する 書 類	卒業証明書又は卒業見込み証明書（最終出身(在学)学校所定のもの） （出願資格(2)の者は、独立行政法人大学評価・学位授与機構が作成した証明書） （出願資格(4)の者は、在学期間証明書（本学部所定の用紙に最終出身（在学）学校長等が記入し、厳封したもの）及び修得単位数を証明できる証明書）
⑤ 成 績 証 明 書	最終出身(在学)学校長等が作成し、厳封したもの。
⑥ 入 学 検 定 料	30,000 円（振込手数料が別途必要となります。） 本学部所定の振込用紙に必要事項を記入し、切り離さずに、最寄りの金融機関（銀行・信用金庫・農協など）の窓口に入学金検定料を添えて振込手続を行ってください。 <b>（ATM は使用しないでください。）</b> 振込の後に、「振込証明書」（入学志願票添付用）を受け取り、金融機関の受取印が押されていることを確認し、その後、入学志願票の所定欄にのりで貼り付けてください。なお、「受取書」は志願者本人の領収書となりますので、大切に保管してください。 <b>（ゆうちょ銀行での取り扱いはできませんので、注意してください。）</b>
⑦ あ て 名 票	本学部所定の用紙（ラベルは 4 枚とも記入してください。）
⑧ 受 験 票 等 送 付 用 封 筒	本学から志願者に受験票等を送付するための封筒です。 志願者の郵便番号、住所、氏名を明記し、350 円分の切手を貼ってください。（速達郵便）

出願資格(8)に該当する者については、上記の他、下記の⑨に示す書類を添付してください。

⑨	文部科学大臣の定める基準（修業年限 2 年以上で、かつ、修了に必要な総授業時間数が 1700 時間以上）を満たす専修学校の専門課程を修了したこと又は修了見込みであることを校長名で証明する証明書。
---	---

- (3) 出 願 先

〒514-8507 三重県津市栗真町屋町 1 5 7 7  
 三重大学人文学部チーム学務担当 電話 (059) 231-9197(直通)

- (4) 受 験 票 の 交 付

受験票は、本人あてに郵送します。

- (5) 出 願 書 類 提 出 上 の 注 意 事 項

- ① 出願書類に虚偽の記入をした者に対しては、入学後でも入学を取り消すことがあります。  
 ② 出願書類に記入もれ等不備がある場合には、受理できませんので、注意してください。  
 ③ いったん受理した書類は、いかなる理由があっても返還しません。  
 ④ 入学検定料を払い込んだ後、出願書類を提出しなかった場合、出願書類が受理されなかった場合及び入学検定料を誤って二重に払い込んだ場合を除き、いかなる理由があっても払込済の入学検定料は返還しません。（8 頁参照）

#### 4. 選抜方法等

(1) 入学者の選抜については、下記のとおり行います。

【文化学科】 出願書類、小論文、外国語及び面接の結果を総合して行います。

期 日	時 間	教 科 等	実 施 場 所
平成22年11月13日(土)	10:00~11:30	小 論 文	人 文 学 部
	13:00~14:30	外 国 語*	
	15:00~	面 接	
平成22年11月14日(日)	10:00~	面 接	

\* 外国語については、英語・ドイツ語・フランス語・中国語のうちから1科目選択してください。

\* 2日目に予定されている面接は、志願者多数の場合に実施することとし、実施の有無については受験票交付時に文書にて通知します。

【法律経済学科】 出願書類、小論文及び面接の結果を総合して行います。

期 日	時 間	教 科 等	実 施 場 所
平成22年11月13日(土)	10:00~11:30	小 論 文	人 文 学 部
	13:00~	面 接	
平成22年11月14日(日)	10:00~	面 接	

\* 2日目に予定されている面接は、志願者多数の場合に実施することとし、実施の有無については受験票交付時に文書にて通知します。

(2) 受験上の注意事項

- ① 試験時間割等の詳細は、後日、本人あてに通知します。
- ② 受験票を必ず持参してください。
- ③ 当日の掲示事項に注意してください。

#### 5. 合格者の発表

平成22年12月13日(月)午前10時頃、人文学部ロビーに合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者本人あてに郵便で通知します。

また、合格発表後、入試チームホームページ (<http://www.mie-u.ac.jp/exam/>)にも合格者の受験番号を掲載します。

閲覧できる期間は、「平成22年12月13日(月)~12月20日(月)17時まで」です。

なお、電話による合否の照会には一切応じられません。

#### 6. 編入学確約書の提出

編入学試験の合格通知を受けた者は、入学確約書を平成23年1月4日(火)までに提出してください。

## IV. 私費外国人留学生を対象とした特別入試

### ● 学力試験による入試

#### 1. 出 願 資 格

日本の国籍を有しない者で、独立行政法人 日本学生支援機構実施の日本留学試験(日本語、総合科目(出題言語:日本語又は英語))を受験(平成21年度又は平成22年度実施分)し、次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 外国において日本の学士の学位と同等の学位を取得した者又は取得見込みの者
- (2) 外国において学校教育における14年の課程若しくはこれと同等以上の課程を平成23年(2011年)3月31日までに修了した者及び修了見込みの者
- (3) 外国人留学生として、日本の大学において平成23年(2011年)3月31日までに2年以上の在学となる者で、修得(修得見込み)単位数が52単位以上の者
- (4) 外国人留学生として、日本の大学、短期大学、高等専門学校いずれかを卒業した者及び平成23年(2011年)3月卒業見込みの者
- (5) 学校教育法第132条の規定による専修学校の専門課程を修了した者及び平成23年(2011年)3月修了見込みの者

[注] 出願資格(5)による場合は、修学上の詳細について事前に問い合わせてください。

## 2. 編入学時期及び卒業要件

- (1) 編入学は、平成23年(2011年)4月とし、学年は第3年次とします。
- (2) 本学部で定める所定の単位数を修得した場合は、入学後2か年の在学で卒業可能です。
- (3) 入学後の教育は、原則として日本人学生と同様に行います。

## 3. 出願手続

### (1) 出願期間

平成23年(2011年)1月4日(火)から1月6日(木)まで  
 郵送の場合は「書留速達」とし、1月6日(木)必着とします。  
 なお、持参する場合は9時~17時とします。(土曜日・日曜日・祝日を除く)

### (2) 出願に必要な書類

書 類 等	摘 要
① 志 願 票	本学部所定の用紙
② 志 願 理 由 書	本学部所定の用紙
③ 受 験 写 真 票 ----- 受 験 票	本学部所定の用紙 出願日前3か月以内に撮影した写真(たて4cm×よこ3cm,無背景,三分身,無帽,正面向のもの(カラー可)を貼ってください。)
④ 出 願 資 格 を 証 明 する 書 類	卒業証明書又は卒業見込み証明書(最終出身(在学)学校所定のもの) (出願資格(3)の者は、在学期間証明書(本学部所定の用紙に最終出身(在学)学校長等が記入し、厳封したもの)及び修得単位数を証明できる証明書)
⑤ 成 績 証 明 書	最終出身(在学)学校長等が作成し、厳封したもの。
⑥ 日 本 留 学 試 験 受 験 票 写	日本留学試験受験票の写
⑦ 国 籍・在 留 資 格 を 証 明 できる 書 類	市区町村長発行の登録原票記載証明書又はパスポート(国籍・在留資格の部分)の写
⑧ 入 学 検 定 料	30,000円(振込手数料が別途必要となります。) 本学所定の振込用紙に必要事項を記入し、切り離さずに、最寄りの金融機関(銀行・信用金庫・農協など)の窓口に入学金を添えて振込手続を行ってください。 (ATMは使用しないでください。)振込の後に、「振込証明書」(入学志願票添付用)を受け取り、金融機関の受取印が押されていることを確認し、その後、入学志願票の所定欄にのりで貼り付けてください。なお、「受取書」は志願者本人の領収書となりますので、大切に保管してください。 (ゆうちょ銀行での取り扱いはできませんので、注意してください。)
⑨ あ て 名 票	本学部所定の用紙(ラベルは4枚とも記入してください。)
⑩ 受 験 票 等 送 付 用 封 筒	本学から志願者に受験票等を送付するための封筒です。 志願者の郵便番号、住所、氏名を明記し、350円分の切手を貼ってください。(速達郵便)受信者が外国に居住する場合には、航空便書状25グラム料金の国際返信切手券を同封してください。

出願資格(5)に該当する者については、上記の他、下記の⑪に示す書類を添付してください。

⑪	文部科学大臣の定める基準(修業年限2年以上で、かつ、修了に必要な総授業時間数が1700時間以上)を満たす専修学校の専門課程を修了したこと又は修了見込みであることを校長名で証明する証明書。
---	---

[注] 提出すべき書類のうち、外国の学校又は機関が作成する書類(日本語以外による記載の場合)については、日本語訳を添付してください。

### (3) 出 願 先

〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577  
 三重大学人文学部チーム学務担当 電話 (059) 231-9197(直通)

### (4) 受 験 票 の 交 付

受験票は、本人あてに郵送します。



#### (5) 出願書類提出上の注意事項

- ① 出願書類に虚偽の記入をした者に対しては、入学後でも入学を取り消すことがあります。
- ② 出願書類に記入もれ等不備がある場合には、受理できませんので、注意してください。
- ③ いったん受理した書類は、いかなる理由があっても返還しません。
- ④ 入学検定料を払い込んだ後、出願書類を提出しなかった場合、出願書類が受理されなかった場合及び入学検定料を誤って二重に払い込んだ場合を除き、いかなる理由があっても払込済の入学検定料は返還しません。

#### 4. 選抜方法等

- (1) 入学者の選抜については、出願書類、小論文及び面接の結果を総合して行います。  
なお、小論文及び面接は、いずれも日本語により行います。

期 日	時 間	教 科 等	実 施 場 所
平成 23 年(2011 年)1 月 19 日(水)	10 : 00 ~ 11 : 30	小 論 文	人 文 学 部
	13 : 00 ~	面 接	
平成 23 年(2011 年)1 月 20 日(木)	10 : 00 ~	面 接	

\* 2 日目に予定されている面接は、志願者多数の場合に実施することとし、実施の有無については受験票交付時に文書にて通知します。

#### (2) 受験上の注意事項

- ① 試験時間割等の詳細は、後日、本人あてに通知します。
- ② 受験票を必ず持参してください。
- ③ 当日の掲示事項に注意してください。

#### 5. 合格者の発表

平成 23 年(2011 年) 2 月 14 日(月) 午前 10 時頃、人文学部ロビーに合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者本人あてに郵便で通知します。

また、合格発表後、入試チームホームページ (<http://www.mie-u.ac.jp/exam/>) にも合格者の受験番号を掲載します。

閲覧できる期間は、「平成 23 年(2011 年) 2 月 14 日(月) ~ 2 月 21 日(月) 17 時まで」です。

なお、電話による可否の照会には一切応じられません。

#### 6. 編入学確約書の提出

編入学試験の合格通知を受けた者は、入学確約書を平成 23 年(2011 年) 3 月 1 日(火) までに提出してください。

## V. 入学検定料の返還について

入学検定料を払い込んだ後は次の場合を除き、いかなる理由があっても払込済の入学検定料は返還しません。

- (1) 入学検定料を払い込んだが三重大学に出願しなかった又は出願書類が受理されなかった場合
- (2) 入学検定料を誤って二重に払い込んだ場合

#### 〈返還請求の方法〉

便せん等を使用し、次の a~e を明記した入学検定料返還請求願を作成し、必ず「入学検定料受取書」(コピー可) を添付して三重大学財務部経理チーム(514-8507 津市栗真町屋町 1577) へ出願期間締切り後 2 週間以内に郵送してください。(封筒には「入学検定料返還請求願在中」と朱書きしてください。)

後日、財務部経理チームから返還手続きに必要な書類を郵送します。

なお、返還時期は、入学検定料返還請求願受理後概ね 1 ヶ月後を予定しています。

[入学検定料返還請求願]

- a. 返還請求の理由
- b. 氏名(フリガナ)
- c. 現住所
- d. 連絡先の電話番号
- e. その他

## VI. 障害等のある入学志願者との事前相談について

障害等（学校教育法施行令第22条の3に定める障害の程度（次表参照））のある者に対しては、受験及び就学上特別な配慮が必要となる場合がありますので、出願に先立ち、必ず次により相談してください。

なお、相談の時期、内容によっては、本学の試験（入学後についても）までに対応できず、配慮を希望される措置が講じられない場合もありますので、可能な限り早めに相談してください。

また、期限後に本学を志願することとなった場合及び不慮の事故等により障害を有することとなった場合は、その時点で速やかに相談してください。

（学校教育法施行令第22条の3の規定に準拠）

区分	障 害 の 程 度
視 覚	両眼の視力がおおむね0.3未満のもの又は視力以外の視機能障害が高度のもののうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識の不可能又は著しく困難な程度のもの
聴 覚	両耳の聴力レベルがおおむね60デシベル以上のものうち、補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの
身体機能	1. 肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度のもの 2. 肢体不自由の状態が前号に掲げる程度に達しないものうち、常時の医学的観察指導を必要とする程度のもの
病 弱 者	1. 慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のもの 2. 身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のもの

### 1. 相談の方法

特別措置を希望する場合は、電話又はFAXなどによりあらかじめ本学人文学部チーム学務担当に連絡した上で、次の内容を記載した相談書（様式は特に定めません。）を、人文学部チーム学務担当に郵送などの方法で提出してください。

なお、相談の内容によっては入学志願者と面談を行うことがあります。

- (1) 入学志願者の氏名、性別、生年月日、住所、連絡先の電話番号
- (2) 志望学科
- (3) 障害の種類・程度（医師の診断書又は身体障害者手帳の写しを添付してください。)
- (4) 受験及び就学上希望する具体的措置
- (5) その他参考になる事項

### 2. 相談の時期

出願開始2週間前まで（土曜日・日曜日・祝日を除く）

### 3. 連絡先

人文学部チーム学務担当 電話・FAX (059) 231-9197

## VII. 入学手続き等について

合格者（入学確約書提出者）には、入学手続きに必要な書類等を平成23年3月上旬頃送付します。

## VIII. 出願書類の請求方法

願書類を郵送で請求する場合は、請求する封筒の表に「人文学部3年次編入学学生募集要項請求」と朱書きし、返信用封筒（角形2号封筒に差出人の郵便番号、住所、氏名を明記し、200円分の切手（速達郵便の場合は470円分の切手）を貼ったもの）を同封し、下記あてに請求してください。

〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577 三重大学学務部入試チーム

## IX. 受験時の宿泊について

受験に際して、宿泊を必要とされる方は、各自で旅館等を予約してください。  
なお、下記の機関を利用して予約することができます。

三重大学生生活協同組合  
〒514-0015  
津市栗真町屋町 1577  
TEL (059) 236-1080  
FAX (059) 232-1609  
ホームページ <http://mucoop.jp/>

津市ホテル旅館料理組合  
〒514-0015  
三重県津市寿町 12-19  
TEL (059) 228-9029  
FAX (059) 228-9029  
ホームページ  
<http://orange.zero.jp/tsu.fox/>  
[受験（専門学校・大学・短大）宿泊パック]

## X. 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

### 「人文学部」

#### —このような人を育てます—

人文学部は、人間が創り出してきた文化や社会を、より広く深く理解するための多様な知的探求を行います。人文科学や社会科学のさまざまな研究分野にふれ、それらの理論にもとづき、人間社会のかかえる問題を見いだす“感性”を、その問題の適切な解決へのアプローチを学ぶことによって、分野の壁をこえて文化や社会をとらえる総合的な視点や、古い枠にとらわれない“思考力”を育てます。また、このような学びの場を通じて、現代社会を“生きぬく”ための知的立脚点の獲得をめざします。そして、いつの時代にも変わらぬ人間の本質を見つめつつ、複雑化する現代世界と激しく変化する人間社会を正しく認識し、次々と生じる問題に立ち向かい創造性あふれる提言ができる“コミュニケーション力”を培います。卒業後は、企業、官庁、教育界からNPO、起業などの新たな分野に至るまで、地域においても国際的にも幅広く活躍できる人材を育成します。

#### —このような人を求めます—

- 人間の文化、または、社会の動きやしぐみに強い関心・好奇心をもっている人。
- 積極的・人間的に生きるために、人間の文化や社会について深く理解することを望む人。
- 現代社会における諸問題を理解し、解決策を探求しようとする意欲がある人。
- そのために必要な基礎学力、論理的思考力、読解力、表現力を持ち、これらの力をさらに高めようとする意欲にあふれる人。

#### —入学者選抜方針—

##### 3年次編入学

##### ●一般推薦入試

法律経済学科では、通常の学力試験を課さない推薦入試を実施します。学業成績が上位に属し、出身学校長等が責任を持って推薦し、合格した場合に入学を確約できる者に限ります。面接によって勉学への意欲やコミュニケーション能力を審査するとともに、出願書類の審査を加えて総合的な選抜をします。

##### ●一般学力入試

文化学科では、文化や社会を広く深く理解し考えるために必要な基礎学力の一部を外国語で審査するとともに、小論文で文化や社会への関心と論理的思考力・表現力を審査します。法律経済学科では、論述試験によって論理的思考力・読解力・表現力を審査します。また、両学科とも、面接によって勉学への意欲やコミュニケーション能力を審査するとともに、出願書類の審査を加えて総合的な選抜をします。

##### ●社会人特別入試

文化学科では、文化や社会を広く深く理解し考えるために必要な基礎学力の一部を外国語で審査するとともに、小論文で文化や社会への関心と論理的思考力・表現力を審査します。法律経済学科では、小論文によって文化や社会への関心と論理的思考力・表現力を審査します。また、両学科とも、面接によって勉学への意欲やコミュニケーション能力を審査す

るとともに、出願書類の審査を加えて総合的な選抜をします。

●私費外国人留学生特別入試

小論文で文化や社会への関心と論理的思考力・表現力を、また、面接によって日本で学ぼうとする勉学意欲やコミュニケーション能力を見ます。これらに出願書類（日本留学試験の成績を含む）の審査を加えて総合的な選抜をします。なお、3年次編入学後の学部専門教育課程において相当な成果をあげられるような日本語能力を有しているかどうかを見るために、小論文及び面接は、いずれも日本語により行います。

## XI. 学部・学科の内容

### 1. 本学の環境

三重県は、気候温暖で、四季の変化に富んでいます。本学は、県庁の所在地である津市の北東部に位置し、白砂青松の栗真町海岸を間近にひかえて、勉学環境に恵まれた好適の場所に5つの学部がまとまっています。

### 2. 人文学部の概要

#### (1) 設置の目的

人文学部は、人文、社会科学全般にわたって幅広い教養と専門知識を養い、現代社会生活の諸分野に対応する総合的な能力と積極的行動力をもった人材養成を目標として、昭和58年度に開設された学部です。

#### (2) 学科構成

人文学部は、文化学科と法律経済学科の2つの学科によって構成されています。

**文化学科**は、地域文化専修、言語文化専修、環境文化専修の3専修と、日本研究、アジア・オセアニア研究、ヨーロッパ・地中海研究、アメリカ研究の4地域研究という2つの軸を組み合わせたカリキュラムによって学際性と国際性を備えた学習ができます。特定の地域文化に関して、言語・文学・思想・歴史・地誌・社会・民族等の多方面から学び、また地域をこえた人間と環境の関わりについて広い視野から知識を身につけることができます。

**法律経済学科**は、法学・政治学・経済学・経営学といった社会科学の学問分野を軸に学び、変化の激しい現代社会において、自分なりの社会を見る眼をもって問題を発見し、意欲的にその解決に取り組むことができる能力を身につけます。そのために、本学科では、法政コースと現代経済コースという2つのコースを設けるとともに、学生ひとりひとりの適性と関心を確認しながら学習できる教育カリキュラムを用意しています。

### 3. 授業科目

#### 【文化学科】

必修科目（様々な専修や地域の必修科目を列挙したものです。）

オリエンテーションセミナー	比較思想	比較史学	比較社会論
比較地域論	比較文化論	比較文学	比較言語論
言語コミュニケーション論	環境論	日本の思想	日本の歴史
日本の言語	日本の文学	日本の社会	日本の風土と地誌
日本考古学特講	アジア・オセアニアの思想	アジア・オセアニアの歴史	中国の言語
アジア・オセアニアの言語	アジア・オセアニアの文学	中国の文学	アジア・オセアニアの社会
アジア・オセアニアの風土と地誌	アジア・オセアニアの民族と文化	中国語会話	中国語作文
ヨーロッパ・地中海の思想	ヨーロッパ・地中海の歴史	英米の言語	イギリスの文学
ドイツの言語	ドイツの文学	フランスの言語	フランスの文学
ヨーロッパ・地中海の社会	ヨーロッパ・地中海の風土と地誌	ヨーロッパ・地中海の民族と文化	英語会話
英作文	ドイツ語会話	フランス語会話	アメリカの思想
アメリカの歴史	アメリカの文学	アメリカの社会	アメリカの風土と地誌
アメリカの民族と文化	環境特論	社会環境論	社会心理学
社会心理学特論	国際平和論	科学史・科学論	学術情報論
生命倫理論	生命倫理特論		

自由選択

哲学概論	倫理学概論	論理学概論	歴史学概論
言語科学概論	日本文学概論	英米文学概論	社会学概論
考古学・文化財学概論	現代社会論	社会調査法	コミュニケーション論
地域環境論	文化環境論	自然環境論	文化人類学
民俗学	美術理論	美術史	社会福祉論
環境心理学	環境管理と科学技術	生涯学習概論	生涯学習特論
図書館情報学概論	文献調査法	環境倫理論	日本語と日本社会(留学生対象科目)
日本語コミュニケーション	特殊講義		

【法律経済学科】

必修科目

オリエンテーションセミナー	基礎総合科目	憲法	民法総則
経営学総論	近代経済学	政治学原論	経済原論

自由選択

【法政コース】

憲法制度論	政治学特論	比較政治論	国際法総論
国際組織法	国際法各論	日本政治史	行政学
政策過程論	政治思想史	現代政治理論	行政法総論
行政法各論	行政救済法	地方自治論	地方自治特論
環境法	国際関係論	西洋政治外交史	計量政治学
債権総論	物権法	債権各論	家族法
刑法総論	刑法各論	刑事訴訟法	少年法
刑事政策	会社法	商法総則	商取引法
法哲学	法哲学特論	法思想史	民事訴訟法
民事執行法	倒産法	現代裁判論	労働基準法
労働組合法	特殊講義	卒業研究	

【現代経済コース】

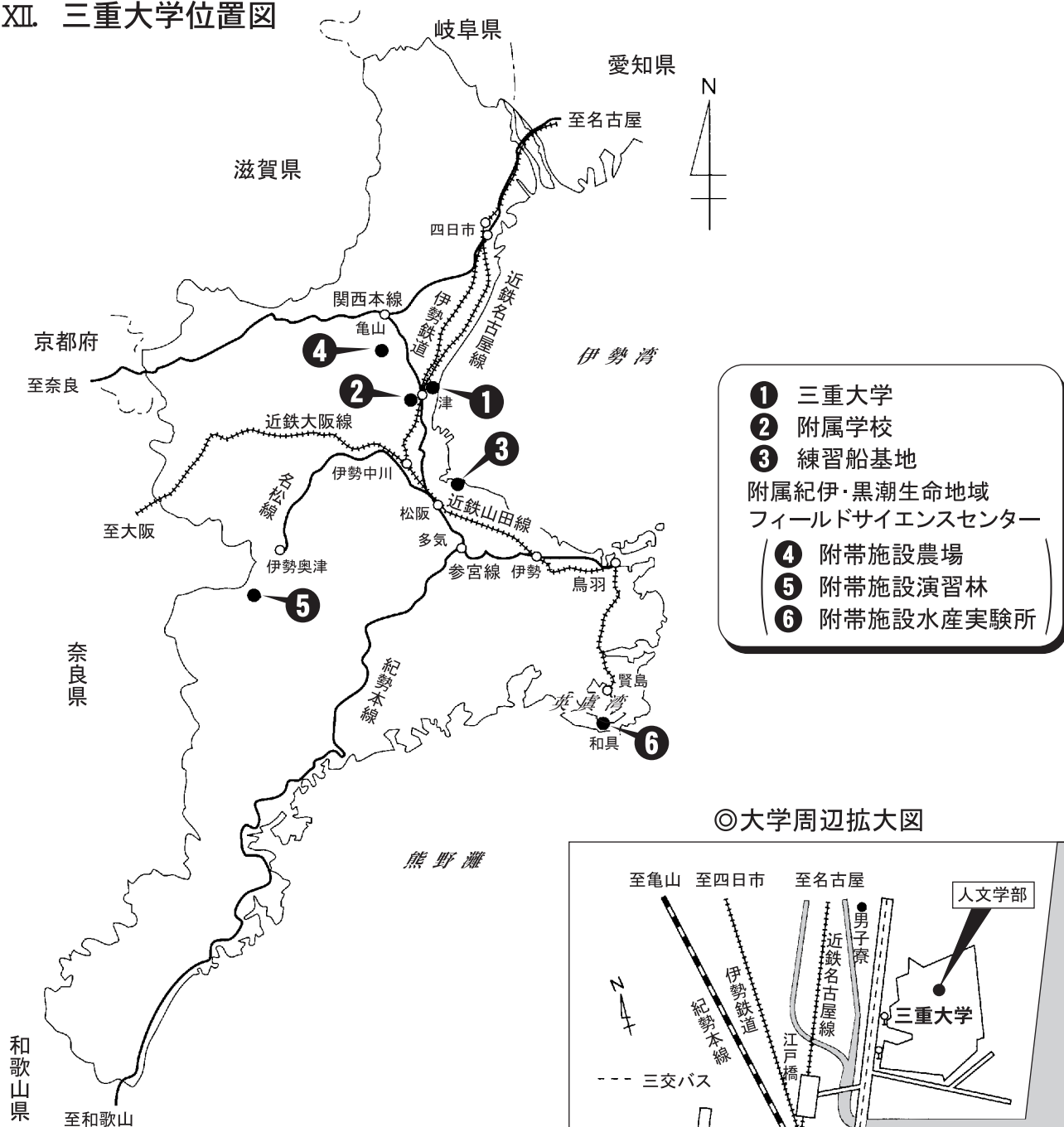
経営史	人的資源管理論	経営管理論	多国籍企業論
経済思想史	マーケティング論	サプライチェーン・マネジメント	中小企業論
日本経済史	近現代アジア経済史	金融論	証券経済論
日本経済論	日本経済論特論	会計学	簿記
コーポレートファイナンス	国際金融論	マクロ経済学	ミクロ経済学
国際経済論	財政学	経済数学	地方財政論
経済地理学	都市経済論	地域経済分析	産業経済論総論
産業経済論各論	計量経済学	経済統計	福祉経済論
社会保障論	経済政策	地域経済政策	西洋経済史
統計学	特殊講義	卒業研究	

【両コース共通】

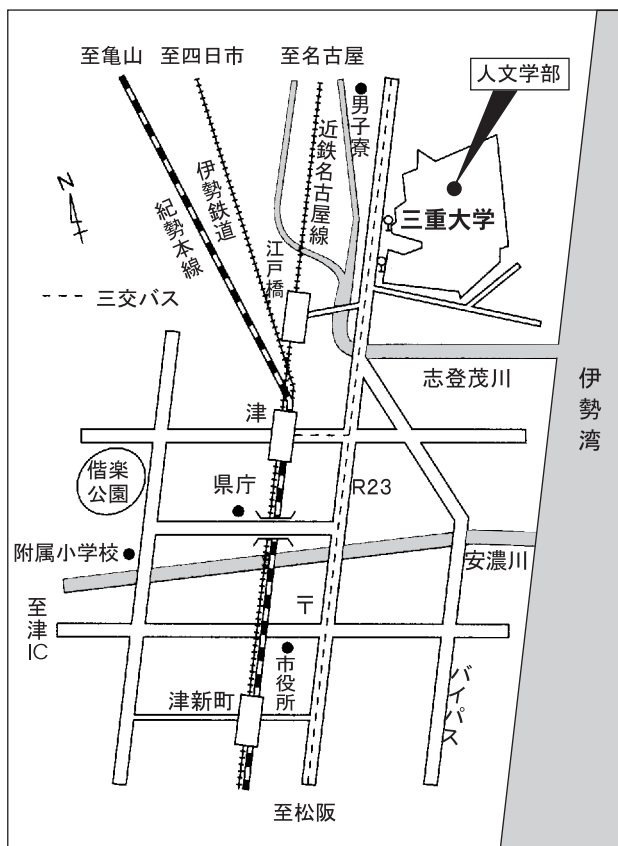
外書講読 A	外書講読 B	日本語と日本社会 A～B	日本語コミュニケーション A～B
--------	--------	--------------	------------------

○ 両学科とも、多くの授業科目には演習があります。

## XII. 三重大学位置図



◎大学周辺拡大図



### ◎本学への交通案内

- ① 近鉄江戸橋駅（急行停車駅）下車 徒歩約15分
- ② J R東海, 近鉄 津駅（特急・急行停車駅）下車  
津駅前バスのりば（津駅東口）「4番のりば」から  
バスで約15分  
三重交通バス「白塚駅」, 「棕本」, 「豊里ネオポリス」,  
「三重病院」, 「三行」, 「サイエンスシティ」, 「太陽  
の街」, 「高田高校前」行きに乗車  
「大学病院前」又は「大学前」で下車
- ③ 津駅からタクシーで約10分
- ④ 津I.Cから車で約20分, 芸濃I.Cから車で約25分

### (注意)

朝は交通渋滞が予想されますので、バス・タクシー等を利用の際は、時間に十分余裕をもって来てください。（本学への交通手段としては、近鉄江戸橋駅から徒歩で来ることが望ましいです。）

また、自家用車での入構はできませんので注意してください。

## XIII. 個人情報の利用について

独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律（以下「個人情報保護法」という。）が平成17年4月1日に施行されました。

本学が入学選抜を通じて取得した個人情報の利用については、入学選抜に係る業務のほか、次のとおりです。

- (1) 合格者の住所・氏名等を入学手続に関わる業務で利用します。
- (2) 入学手続者の住所・氏名等を入学後の学籍管理等の修学に係わる業務並びに健康診断等の保健管理に係わる業務で利用します。
- (3) 入学手続者の住所・氏名等を入学料並びに授業料徴収等の納付金管理に係わる業務で利用します。
- (4) 入学選抜で取得した成績等の個人情報を、入学料免除及び授業料免除並びに奨学生選考等の修学支援に係わる業務で利用します。
- (5) 個人が特定できない形で、統計処理等に付随する業務並びに本学における入学選抜に関する調査研究で利用します。

本学が取得した個人情報は、法で定められた場合を除き、出願者の同意を得ることなく、他の目的で利用又は第三者に提供することはありません。